

木古内町教育委員会々議事録

開催月日	令和7年2月18日(火)	第2回 教育委員会
時 間	11時00分～11時45分	
出席委員	藤澤義博、工藤嗣美、竹田光伸、古城美佳	
欠席委員	仁禮秀嗣	
事務局	加藤生涯学習課長、森山CIO補佐官、学校教育G敦澤主査、社会教育G太田主査	
議 事 内 容	○ 会議録の承認について 令和7年第1回教育委員会会議録 承認 ○ 報告事項 第1号 教育長諸報告 1. 1月30日開催の第1回委員会以降の会議等出席状況報告 藤澤教育長より説明 承認 ○ 協議事項 第1号 第1回町議会定例会に上程する補正予算(案)について 資料をもとに加藤課長より説明。 補正予算の主なものとして、地域プロジェクトマネージャーの任用月数の減・特別支援教育支援員は道予算による期限付教諭へ移行した職員による・通学補助は支出見込額の確定による・社会教育の出演料は民間事業者の地域貢献事業を活用した事による・電気料の増は単価増による・学校給食費の原材料費は食材高騰による。 可決 第2号 令和6年度(第27回)児童生徒文化・スポーツ表彰について 資料をもとに加藤課長より説明 可決 ○ その他 1 各研修会について 資料をもとに森山補佐官より説明。 第5回目の研修として、生成AIを内容として札幌国際大の安井准教授より講義を受けた。教員からは研修内容について「よく理解できた」「非常に満足」という意見が多く、校務に活用できそうという声が聞かれた。全5回を通してのまとめとしてアンケートも取ったが、クラウド利用については習熟度にバラつきが有る。 (藤澤教育長) 先生方の研修について、ネットトラブル事業も実施している事から、先生方のスキルを上げる事でトラブルを防ぐ事につながる。 (竹田委員) 自由記述欄で「教育委員会の施策」とあるが施策なのか？ (森山補佐官) こちらは先生の自由記述となっているので。 (竹田委員) 中学校の先生方は参加していない？ (森山補佐官) 案内はしているが参加には至っていない。	

(その他)

- (加藤課長) 在り方検討委員会について令和7年度は？
(藤澤教育長) 令和7年度の予算として、現在はこのような場を設ける予算が確保できていない。フォーラムや在り方検討委員会について。方法としては国の事業を活用するというものもある。
(工藤委員) 公募内容を見ると、総合教育会議・自治体間の連携促進とあるが？
(藤澤教育長) 令和6年度は、総合教育会議の内容で申請した。
(工藤委員) 今回、先生方に来ていただき勉強になった。自分達の考えは間違っていなかったと自信にも繋がった。先生の意見を聞けるのはとても参考になるし面白い。
(竹田委員) 常に町長とコミュニケーションを取っているし、この事業活用は必要なのかな？と思う。
(加藤課長) まとめると、今年度色々アドバイスをいただいたので、令和7年度は自分達でやってみて、それでまたというのであれば令和8年度に申請という形で良いか？
(竹田委員) もう少し内容を精査してで良いと思う。令和7年度予算に関係する話なので、もっと早くの協議が必要だったと思う。
(藤澤教育長) 国の事業であり、我々が手を挙げてすんなり予算がつくものではない。公募時期が今なので、先月・今月と提案をさせていただいた。いま結論を出さなければ令和7年度は出来ないという事になる。現状、教育フォーラムの実施予算も無いが、それでよろしいか？
(古城委員) 個人的には先生の意見を聞けるのはとても参考になるので予算がつくのであればいい事だと思う。
(藤澤教育長) 本来10月頃にお話しすべき事ではあったが、国の公募期間が今なので、このタイミングとなった。
(工藤委員) 具体的な目的がない状況なので、テーマを設けてそれを実現させるためにフォーラムをやったり段階的にやるのであれば分かるが。方向性を決めた上での予算の話ではないだろうか。
(加藤課長) 予算付けの権限が教育委員会にはないので、町長と対面し話をして予算確保をする場が総合教育会議ではある。
(工藤委員) 来年度はまず事業活用しない方向で良いのでは。

第3回教育委員会の日程確認について

日時：令和7年3月17日（月）9：30～

署名委員

古 城 美 佳 印